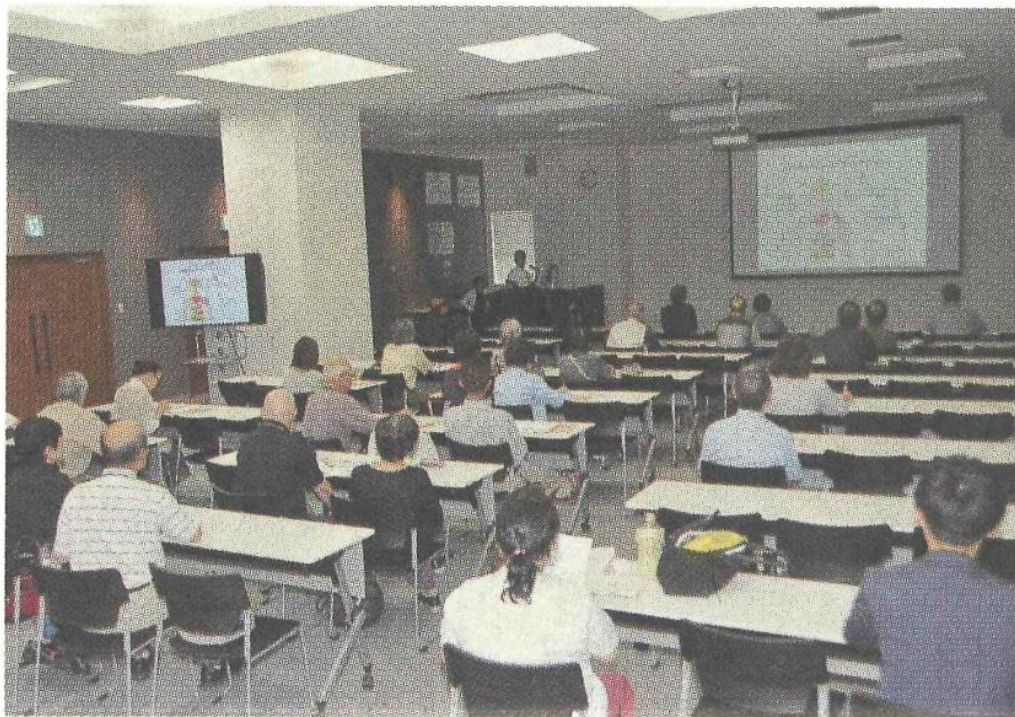


## 合併症や薬物療法解説

市民らが合併症を防ぐ大切さや薬物療法の現状などを学んだ糖尿病教室



### 製鉄記念室蘭病院「糖尿病教室」

製鉄記念室蘭病院（前田征洋病院長）の「糖尿病教室」が29日、室蘭市知利別町の同病院がん診療センターで開かれ、市民ら約40人が医師や薬剤師の解説などを通じて、糖尿病の合併症

を防ぐ大切さや薬物療法の現状などについて理解を深めた。

今回で6回目の開催。循環器内科の木村幸滋医長が「糖尿病について」、薬剤部の鈴木敬秀主任が「糖尿病の薬物治療」をテーマにそれぞれ解説した。

木村医長は、患者本人が糖尿病に気付かず、放置してしまう危険性などを指摘。神経や目、腎臓の症状に、足の壊疽や脳卒中、虚血性心疾患などの合併症が起きる前に、血糖コントロールを始める大切さも説いた。

また、薬物治療については「1日全体の血糖を下げたい」「食後の血糖を下げたい」など、「1日の中でいつ血糖が高くなるか」によって、薬を選択することなどを解説。インスリンの効きを良くして血糖を下げる「ビッグアナイド薬」、尿から糖の排せつを促す「SGLT2阻害薬」などについても説明。市民らも真剣な表情で耳を傾けていた。

（松岡秀宜）